

# 2021 年度事業報告書

特定非営利活動法人ダイバーシティサッカー協会

## I 事業期間

2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日

## II 事業の成果

今年度は、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により、事業計画の変更や縮小などを余儀なくされたが、関係団体との連携などを通じて、以下の成果をあげることができた。

### 1 野武士ジャパン運営サポート

東京と大阪で認定 NPO 法人ビッグイシュー基金のサッカーチーム「野武士ジャパン」の通常練習（各月 2 回）の運営協力を行い、計 15 回の活動にのべ 214 人が参加した。参加者は、ホームレスの当事者・経験者に加え、スタッフ、ひきこもりや不登校の経験者、ボランティアなども含む。新型コロナウイルス感染症の流行状況に応じて、練習の中止、オンライン開催、感染防止対策を徹底した上での実施など、柔軟な対応ができるようサポートした。

緊急事態宣言等の発令時には、オンラインでエクササイズを行うリモートワークアウトプログラム「Stay Home! Stay Active!」を計 14 回実施し、のべ 95 人が参加した。昨年度からメンバーの通信環境の不足が課題に挙げられていたが、今年度は助成金も活用し、持ち運びできるパソコンとポケット Wi-Fi を計 4 名に貸し出し、上記エクササイズやミーティング、各種のオンラインイベントへの参加などに利用された。

また、フランス発の総合スポーツブランド「デカトロン」より、スパイクやウェアなどおよそ 150 点のサッカー用品の寄贈の申し出があり、協会を通じて東西の野武士ジャパンのメンバーに提供することで、環境整備に貢献した。

### 2 個人参加型フットサル交流会「ダサ Co-Sal キャラバン」

主にダイバーシティカップ参加経験者のために、多様な社会的困難を抱えた当事者同士が直接交流できる機会として、チームではなく個人で参加できるフットサル交流会を東京で開催した。2 回のイベントで、のべ 35 人が参加した。

交流の頻度と親密さを増すことで、参加者それぞれが日常生活でも自分らしくいられることを狙いとし、体を使ったアイスブレイクやウォーキングサッカーなど、サッカー経験の有無に関わらず誰でも参加しやすい場づくりを心掛けたほか、地域若者サポートステーションへの通所経験がある若者がコーチを担うなど、多様な役割づくりにも挑戦した。

### 3 各地のパートナー団体との協働

理事および主要なパートナー団体の代表者を集めて、およそ月 1 回のオンライン会議で活動状況の共有や事業の企画検討を行った。また、企画ごとに個別のパートナー団体と密に連絡を取り合った。具体的には、NPO 法人ゆどうふとの連携の一環で、オンラインでのエクササイズプログラムの講師を務めたほか、千葉『共に暮らす』フットボール協会主催のオープンリーグ運営にも協力。その他、ボールのプレゼント企画なども昨年に引き続き行った。

### 4 「オンライン・ダイバーシティサッカー・フェス SUMMICCO（すみっこ）2021」の開催

ダイバーシティカップに代わる機会をなんとかオンラインでも！という思いから、各地のパートナー団体や当事者と実行委員会を作り「オンライン・ダイバーシティサッカー・フェス SUMMICCO（すみっこ）2021」を 12 月 14 日～23 日に開催した。具体的には、沖縄・宮城、大阪の若者支援団体を繋いで e スポーツ大会や、各地のパートナー団体から寄せられた動画の配信、オンライン・ハーフタイムショーなど、多岐に渡るプログラムを当事者参加型で行った。また、日本サッカー協会の協力のもと、困難を抱える当事者やその支援者と合同で、サッカーの日本一を決める天皇杯の決勝戦を観戦したほか、1 週間以上にわたるフェスの締めくくり、ダイバーシティサッカーの輪を全国に広げていくための「ダイバーシティリーグ」の構想についてトーク、その模様を配信した。

## 5 ホームレス・ワールドカップ関連事業

昨年に引き続き、2021年のホームレス・ワールドカップはコロナの影響で中止となり、代替的なオンラインイベントなどの開催もなかったため、本部が主催するセミナーへの参加やオンライン会議、取材協力や各国のパートナー団体へのヒアリングなどを通じて、コミュニケーションを継続した。

7月には、レフェリー講習がオンラインで開催され、日本からは2名が参加した。二日間にわたって、ホームレス・ワールドカップの公式ルールや審判として関わる際の姿勢についての講習が行われた。ルールブックについては、日本語への翻訳も行ったほか、11月13日にはルール体験会も開き、広く公式ルールに触れる機会も設けた。

ホームレス・ワールドカップを題材にした、2022年に公開予定の映画制作に協力した。出演俳優への取材対応や来年度以降の公開に併せたイベントの検討などを行った。

最後に日本代表チームを派遣したパリ大会から10年という節目であることから、当時を振り返るオンラインイベントを二つ開催した。10月2日に開催した「ホームレス・ワールドカップ パリ大会から10年～選手、コーチ、ボランティアと振り返る～」では、当時の立場の異なる4人のゲストが、当時の思いを語り合った。また、1月8日に開催した「ホームレスサッカーのコーチングから考える、みんなが楽しむサッカーとは？」では、歴代「野武士ジャパン」のコーチが集い、年齢も背景も異なる人が集うホームレスサッカーの場において、どのようなコーチングが行われてきたかについて参加者と一緒に考えた。

## 6 調査・研究・広報

2020年度に立ち上げたホームページを中心に、インターン生やプロボノの協力を得ながら、Twitter、Facebook、InstagramなどのSNSを通じた発信を継続したほか、「SUMMICO(すみっこ)」の各種イベントについては、YouTube等も活用し広く視聴できるようにした。また、日本サッカー協会やジャパンタイムズなど、他団体が主催のオンラインイベントにも登壇し、協会の活動について積極的に発信した。

1年間の活動をまとめたアニュアルレポートは、フットボールカルチャーマガジン「SHUKYU Magazine」の編集者およびデザイナーの協力のもと作成し、5000部を発行。直近の活動を報告するニュースレターとともに、寄付者や関係者に送付した。

調査・研究では、2020年に予定していたものの、コロナの影響で開催を見送ったフットサル交流会に参加を検討していた東京・神奈川の3つの若者支援団体を対象にヒアリング調査を行い、その内容をまとめた。

### <メディア掲載一覧>

- ・『週刊金曜日』1329号「小説『だまされ屋さん』は「社会が変わる」小さな成功例として書きました」(5/21)
- ・『大学出版』第127号「大学でスポーツの包摂性を考える」(8/1)
- ・『The Japan Times』2022年1月9日号「Kicking for inclusion: How soccer is helping homeless」(1/9)
- ・「大和ハウス」Webサイト「まちづくりから始まるダイバーシティ&インクルージョン」(3/30)

## III 事業の実施状況

### 1 特定非営利活動に係る事業

#### (1) スポーツや文化・芸術活動を通じた居場所づくり応援事業

(内容)

- ・野武士ジャパン運営サポート

毎月第2、第4土曜日に東京(@住吉公園、9:30-11:30)と大阪(@扇町公園、18:00-20:00)で、ホームレス状態の当事者・経験者が中心のチームの通常練習の運営をサポート。

- ・オンラインプログラムと環境整備

雨天時及び緊急事態宣言下で野武士ジャパンの練習が中止の際には、オンラインでのエクササイズプログラム「Stay Home! Stay Active!」を実施。また、持ち運びできるパソコンと通信機器を4人に貸し出した。

- ・NPO法人ゆどうふオンラインエクササイズ講師

不登校やひきこもり経験などがあり、生きづらさを抱える若者を対象にした居場所でのプロ

グラムの一つとしてエクササイズの講師を務めた（9月17日）

・ダサ Co -Sal キャンパン

過去のダイバーシティカップ参加者を対象に、個人参加型フットサル交流会をミズノフットサルプラザ BumB で実施（10月23日・11月13日）

・各地のパートナー団体との実行委員会

各地のパートナー団体と情報共有と事業の企画・検討をするオンライン会議（2021年4月30日、7月7日、8月5日、9月16日、10月21日、11月26日、2022年1月28日、3月24日）

(収 益) 0円

(費 用) 525,609円

(2) ダイバーシティサッカー大会（国内事業）

(内容)

・千葉『共に暮らす』フットボール協会主催オープンリーグ運営協力

オンライン・オープンリーグ オンライン交流会 2名参加（5月9日）

・オンライン・ダイバーシティサッカー・フェス SUMMICCO（すみっこ）2021

オープニングトーク「SUMMICCOって何？」（12月14日）

第1回eダイバーシティカップ（12月15日）

ダサトーク！～私たちはサッカー大好きプレイヤーです～（12月16日）

オンライン・ハーフタイムショー（12月18日）

天皇杯決勝戦観戦ツアー（12月19日）

ダサラジオ♪ アディショナルタイム（12月21日）

クロージングトーク「ダイバーシティカップからダイバーシティリーグへ」（12月23日）

(収 益) 0円

(費 用) 212,640円

(3) ホームレス・ワールドカップ（国際大会）など海外大会への選手派遣事業

(内容)

・Homeless World Cup レフェリー講習会派遣&ルール体験会

レフェリー講習会（7月6日、20日）

ルール体験会@ミズノフットサルプラザ BumB（11月13日）

・映画『The Beautiful Game』撮影協力

映画撮影への協力（5月～）

・ホームレス・ワールドカップ関連オンラインイベント

「ホームレス・ワールドカップ パリ大会から10年～選手、コーチ、ボランティアと振り返る～」@ Zoom 開催（10月2日）

「ホームレスサッカーのコーチングから考える、みんなが楽しむサッカーとは？」@ Zoom 開催（1月8日）

(収 益) 0円

(費 用) 211,420円

(4) 調査・研究・広報事業

(内容)

・アニュアルレポート発行

活動報告書『2020-2021 アニュアルレポート』を5000部発行（7月15日）。寄付者は関係者に送付。

・イベント登壇

「JFA グラスルーツ推進・賛同パートナーカンファレンス 2021 ～誰も取り残さない！スポーツによるSDG'sを考える～」登壇（12月3日）

「“Tackling social exclusion through soccer” with Naofumi Suzuki - Roundtable: Sustainability with Ross Rowbury #15」登壇（12月9日）

・その他

HPの運用、ニュースレターの送付、アンバサダー・協力団体との打合せ、各種メディアへの

取材対応や記事執筆、SNS での情報発信、YouTube チャンネルを通じた動画配信などを適宜実施

(収益) 0 円  
(費用) 306,894 円

#### IV 社員総会の開催状況

##### 2021 年度通常総会

(日 時) 2021 年 6 月 1 日 20 時 00 分から 21 時 00 分  
(場 所) 議長自宅およびオンライン開催 (Zoom を使用)  
(社員総数) 13 名  
(出席者数) 11 名 (うちオンライン出席 10 名)  
(内 容) 第 1 号議案 (1) 任期満了に伴う役員の改選  
第 2 号議案 2020 年度事業報告・決算案の件  
審議の結果、参加社員の挙手評決により可決  
第 3 号議案 2021 年度事業計画・予算案の報告  
第 4 号議案 議事録署名人の選任の件

#### V 理事会その他の役員会の開催状況

##### 2021 年度第 1 回理事会

(日 時) 2021 年 6 月 1 日 19 時 00 分から 19 時 59 分  
(場 所) 議長自宅およびオンライン開催 (Zoom を使用)  
(理事・監事総数) 理事 5 名 監事 2 名  
(出席者数) 理事 4 名 監事 2 名  
(内 容) 第 1 号議案 2020 年度事業報告・決算案の件  
審議の結果、参加理事の挙手評決により可決  
第 2 号議案 2021 年度事業計画・予算案の件  
審議の結果、参加理事の挙手評決により可決

2021年度活動計算書

特定非営利活動法人ダイバーシティサッカー協会

2021年4月1日から2022年3月31日まで (単位 円)

科目	金額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	130,000		
賛助会員受取会費	541,000	671,000	
2. 受取寄付金			
受取寄付金	1,135,680	1,135,680	
3. 受取助成金等			
受取助成金	1,300,000	1,300,000	
4. 事業収益			
ダイバーシティサッカー大会事業収益	0	0	
5. その他収益			
受取利息	7		
雑収益	110,000	110,007	
経常収益計			3,216,687
II 経常費用			
1. 事業費			
人件費			
給料手当	0		
法定福利費	0		
通勤費	0		
人件費計	0		
その他経費			
業務委託費	0		
諸謝金	462,500		
印刷製本費	84,194		
会議費	0		
旅費交通費	119,484		
通信運搬費	111,145		
消耗品費	207,380		
家賃(光熱費含)	0		
賃借料	79,200		
保険料	17,030		
諸会費	9,000		
支払手数料	12,740		
広告宣伝費	153,890		
その他経費計	1,256,563		
事業費計		1,256,563	
2. 管理費			
人件費			
給料手当	0		
法定福利費	0		
通勤費	0		
福利厚生費	0		
人件費計	0		
その他経費			
業務委託費	0		
印刷製本費	0		
会議費	0		
旅費交通費	0		
通信運搬費	136,026		
消耗品費	2,642		
家賃(光熱費含)	0		
租税公課	1,200		
賃借料	0		
諸会費	0		
支払手数料	1,100		
広告宣伝費	0		
その他経費計	140,968		
管理費計		140,968	
経常費用計			1,397,531
当期正味財産増減額			1,819,156
前期正味財産額			557,105
次期正味財産額			2,376,261

計算書類の注記

1、重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準によっています。

(1) 消費税等の会計処理：消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

なお、当法人は消費税免税事業者です。

2、事業費の内訳

事業費内訳	居場所づくり応援事業	国内大会事業	国際大会事業	調査研究広報事業	事業費計
人件費					
給料手当	0	0	0	0	0
法定福利費	0	0	0	0	0
通勤費	0	0	0	0	0
人件費計	0	0	0	0	0
その他経費					
業務委託費	0	0	0	0	0
諸謝金	130,000	197,500	110,000	25,000	462,500
印刷製本費	0	0	0	84,194	84,194
会議費	0	0	0	0	0
旅費交通費	86,580	0	32,904	0	119,484
通信運搬費	72,065	0	0	39,080	111,145
消耗品費	201,594	0	3,256	2,530	207,380
家賃(光熱費含)	0	0	0	0	0
賃借料	26,400	0	52,800	0	79,200
保険料	6,550	0	10,480	0	17,030
諸会費	0	9,000	0	0	9,000
支払手数料	2,420	6,140	1,980	2,200	12,740
広告宣伝費	0	0	0	153,890	153,890
その他経費計	525,609	212,640	211,420	306,894	1,256,563
事業費計	525,609	212,640	211,420	306,894	1,256,563

# 2021年度貸借対照表

2022年3月31日現在

特定非営利活動法人ダイバーシティサッカー協会

(単位 円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	2,376,261		
流動資産合計		2,376,261	
2. 固定資産			
固定資産合計	0	0	
資産合計			2,376,261
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	0		
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期正味財産額		557,105	
当期正味財産増減額		1,819,156	
正味財産合計			2,376,261
負債及び正味財産合計			2,376,261

# 2021年度財産目録

2022年3月31日現在

特定非営利活動法人ダイバーシティサッカー協会

(単位 円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手元現金	40,694		
ゆうちょ振替	788,000		
普通預金(ゆうちょ銀行)	1,547,567		
流動資産合計		2,376,261	
2. 固定資産			
固定資産合計	0	0	
資産合計			2,376,261
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	0		
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	
負債合計			0
正味財産			2,376,261